

平成 1 8 年度当初予算 施策別概要

5 5 2 道路網の整備

(主担当部局 : 県土整備部)

- 55201 道路ネットワークの形成 (県土整備部)
- 55202 渋滞対策・総合交通対策の推進 (県土整備部)
- 55203 安全・快適で情報化に対応したみちづくり (県土整備部)
- 55204 適切な道路資本の維持管理 (県土整備部)

< 施策の目的 >

- (対象) 道路利用者が
- (意図) 快適かつ安全に道路を利用している

< 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H 1 5 年度	H 1 6 年度	H 1 7 年度	H 1 8 年度
幹線道路における移動時間数(平均移動距離 40km あたり)(分)	目標値	56.6	56.4	56.3	56.1
	実績値	56.5	56.4	56.2	

一般国道において、自動車を利用する場合の 1 日の平均移動距離(40km) 当たりの所要時間

< 平成 1 8 年度に残っている課題 >

北・中勢地域の慢性的な渋滞や県南部地域での大雨等による度重なる通行止め、また、平成 1 6 年度に発生した台風 2 1 号などにより、国道 4 2 号、国道 4 2 2 号などの道路が寸断されたことを踏まえ、県内幹線道路の整備は県政の喫緊の課題です。

平成 2 5 年の伊勢神宮式年遷宮には県内外から多くの来訪者が予想されることから、各方面から伊勢への、または伊勢から世界遺産(熊野古道) を有する東紀州地域へのアクセスルートの重点的な整備を図る必要があります。

県管理道路については、地域の連携を支援し活性化を促すため、市町村合併を支援する道路整備を重点的に進めるとともに、高規格幹線道路や直轄国道などの広域幹線道路と一体となった道路ネットワークの整備を推進することが必要です。

県内に大きな被害を及ぼすことが想定される東南海・南海地震などの大規模災害にも対応する必要から緊急輸送道路の早期整備が必要です。

道路に関する様々な情報を適切に道路利用者に提供することで、道路の利便性向上を図る必要があります。

交通安全施設の整備や適切な維持管理をおこない、安全で円滑な通行の確保に努める必要があります。

< 平成 1 8 年度の施策の取組方向 >

県民の道路整備の期待に応えるため、第二名神高速道路、近畿自動車道紀勢線、熊野尾鷲道路、東海環状自動車道、北勢バイパス、中勢バイパスなどの主要な幹線道路網の整備促進に取り組めます。

伊勢神宮式年遷宮に向けた道路ネットワークの形成のため、近畿自動車道紀勢線、熊野尾鷲道路及び第二伊勢道路などの整備促進や、これら根幹をなす道路にアクセスする県管理道路の整備推進を図ります。

県管理道路については、新道路整備戦略に基づき、引き続き重点的、効率的な整備を進めます。また、平成19年度に予定している新道路整備戦略の見直しのための検討を進めます。

大規模災害に備えるため、高規格幹線道路や直轄国道などの広域幹線道路の整備促進及び県管理道路の整備推進を図り、緊急輸送道路の整備に取り組みます。

道路情報提供装置の整備等により、情報化に対応した快適な道づくりを進めます。

交通事故のない安全・安心な地域づくりのため、歩道整備や交差点改良などの交通安全対策に取り組みます。また、舗装、橋梁に関するデータベースの充実を図り、より一層経済的で効率的な維持補修を実施します。

<主な事業>

(一部重)直轄道路事業負担金【基本事業名：55201 道路ネットワークの形成】

当初予算額： 11,178,001 千円 13,367,667 千円

事業概要：国が行う道路事業に対して負担金を支出することにより、県内の道路ネットワークの形成を促進し、県民生活の利便性、安全性の向上を図ります。

(一部重)道路改築事業【基本事業名：55201 道路ネットワークの形成】

当初予算額： 16,122,277 千円 16,044,295 千円

事業概要：県民生活の利便性、安全性の向上に寄与する道路ネットワークの形成を目指すとともに、市町村合併を支援する道路整備を推進します。また、大規模な災害に対応するため、緊急輸送道路の整備を推進します。

高度道路交通システム推進事業費

【基本事業名：55203 安全・快適で情報化に対応した道づくり】

当初予算額： 90,276 千円 20,000 千円

事業概要：最先端の情報通信技術を利用して、道路情報提供装置等を導入することにより緊急時の安全性の確保や交通事故防止、渋滞の緩和等に努めます。

公共土木施設維持管理費(道路関係分)【基本事業名：55204 適切な道路資本の維持管理】

当初予算額： 6,317,590 千円 5,760,860 千円

事業概要：道路施設の補修、補強を実施することにより、道路の走行性及び安全性の向上を図り、適切な維持管理を行います。